

University of Shizuoka Magazine



静岡県立大学広報誌

はばたき

No.150
2025, February

CONTENTS

- p01 特集①
サテライトオフィス Kendai-com 開設
- p03 特集②
OB・OGインタビュー カイン モン イーさん
- p05 CAMPUS TOPICS
・つつじヶ丘自治会と国際交流イベントを開催
・令和6年度「学生生活活性化プロジェクト」の認定式を開催しました
・学生が共同開発したカードゲームが消費者教育支援センター主催コンテストで受賞
・全国相撲大会で優勝した学生2名が学長を表敬訪問
・看護学部男子チームが「スポGOMI ワールドカップ」静岡予選で2連覇
・しずぶんツアー第7弾「するが文化の散歩道スタンプラリー2024」を開催
・吹奏楽部が第65回静岡県吹奏楽コンクールで金賞受賞
・県議会議員と学生が「地域公共交通の今後を考える」意見交換会を実施
・「フィールドワーク」で環境の重要性を学ぶ
・羽衣つたえ隊とSPAC俳優による朗読会が開催されました
- p10 Beyond the World
～静岡県立大学の国際交流～
- p11 研究室訪問
・薬学部 原 雄二 教授
- p13 活躍する卒業生
看護学部 看護学科 高田純太郎さん
活躍する在学生
経営情報学部 経営情報学科 3年 秋本 航さん
- p14 産学官連携
- p15 はばたき寄金からのお知らせ
- p16 図書館だより
・2キャンパス合同学生選書ツアー
・私の一冊の本
- p17 ・奨学金授与式
- p18 Information
・学長表彰
・令和6年度学位記授与式、令和7年度入学式のお知らせ
・社会人聴講生募集
・おおぞら基金寄附者ご芳名

サテライトオフィス

Kendai-com

ケンダイ コム

開設

2024年8月、本法人と沼津信用金庫は地域創生に関する連携協定を締結し、「ぬましん COMPASS 沼津」に本学サテライトオフィス「Kendai-com」を開設しました。今回は、「Kendai-com」ではどのようなことが行われているかをご紹介します。



東部のお茶プロジェクト

東部のお茶プロジェクトは、今回のサテライトオフィスの開設を契機にはじまった東部地域の茶農家・茶商と異業種（飲食、ホテル、旅行業者、インバウンド客など）とをつなげる課外活動プロジェクトです。

学生が中心となり、現状の課題を踏まえ、新たな販路拡大を提案したり、ティーツーリズムの形成を提案したり、地域課題の解消策を捻り出し、“やり切る”力⇒起業家精神（アントレプレナーシップ）を醸成することを目的としています。

このプロジェクトでは、学生が、お茶を利用した飲食店（居酒屋、菓子店舗など）の市場調査（東部のお茶の利用実態や可能性）やティーパーティー（異業種とのマッチング機会）を企画開催します。

これまでの活動として、お茶について学ぶ講義を受けているほか、Kendai-comが設置されている「ぬましんCOMPASS沼津」のワークショップスタジオBuzzでお茶と食品業界の交流イベントに参加しました。



した。



サテライトオフィス「Kendai-com」



東部のお茶プロジェクトによるお茶と食品業界の交流イベント

このプロジェクトのメンバーである、林暉登さん(食品栄養科学部1年)は、「自分の地元もお茶の名産地なので、お茶と地域活性化に興味湧きプロジェクトに参加しました。いろいろな分野の話を聞くことができ、そのなかでもお茶の栄養や機能の話は自分の勉強分野とも関係があり興味深かったです。これからも静岡のお茶の魅力を知るとともに、それを発信していきたいと思います」と語っています。

その他にも、「ぬましんCOMPASS沼津」に入居するベンチャー企業や、沼津信用金庫の取引先などが抱える課題、東部地域の地域課題に対して、本学(教員、学生)が共に解消する方策を考えるプロジェクトを、課外活動として行っていく予定です。



Kendai-com とは

Kendai-comは、2024年8月に締結した、沼津信用金庫と静岡県公立大学法人との地域創生に関する

学法人(静岡県立大学及び静岡県立式・静岡県公立大学法人サテライト)



る連携協定の「それぞれの所有する施設の相互利用」に基づき、沼津信用金庫が運営する「ぬましんCOMPASS沼津」2階に設置されました。

この連携協定は、本法人と沼津信用金庫のそれぞれが持つ資源や機能等の活用を図りながら、相互協力の下で静岡県東部地域のひと・まちづくりを推進することを目的に締結したものです。

Kendai-comは、東部地域における本学の情報発信拠点となり、本学での学びを志向する中高生や、本学との共同研究を行う事業者を募ったり、学生の本学外での課外活動のフィールドを増やすことで、県東部地域との連携深化をすることを目的としています。

サテライトオフィス長には茶学総合研究センター員の斎藤貴江子食品栄養科学部助教が就任しました。その他、オフィス職員も置かれ、およそ1週間につき1日サテライトオフィスに駐在しています(2025年2月現在)。

本学の教職員・学生であれば、9時から19時までの間、自由に使用することができます(事前予約制)。



Kendai-com

アクセス

ぬましん

COMPASS沼津2階
(沼津市高島町15-5)



静岡県国際経済振興会 (SIBA)

カイン モン イー さん

今回は、静岡県国際経済振興会 (SIBA) で働いているカインモンイーさんに学生広報大使の藤津さんがお話を伺いました。



—カインさんの現在のお仕事について教えてください。

静岡県国際経済振興会 (通称:SIBA) に勤めています。SIBAは静岡県の関連団体で、静岡県の中小企業が海外に進出するときや海外と輸出入をするときなど、海外ビジネスに取り組む静岡県の事業者のサポートをする組織です。主に人材、お金、情報の3つの柱でサポートを行っており、例えば、外国語が堪能な方や貿易の知識などが豊富な方を紹介したり、輸出に必要な費用のための補助金を提供したり、海外ビジネスや貿易取引に関する情報を伝えたりといったサポートをしています。静岡県の海外駐在員事務所 (上海、ソウル、台湾、シンガポール) の運営や海外9カ国にもサポートデスクがあるので、海外事業展開について情報収集から具体的課題解決まで幅広くトータルサポートをしています。

私が主に携わっているのは人材関係事業です。SIBAは厚生労働省の許可を得て無料職業紹介をおこなっています。また、

外国人留学生就職支援事業があり静岡県内の大学・短大などに通っている外国人留学生と企業とのマッチングができる交流会を行ったり、卒業後も静岡県に残ってもらうために、県内にはどのような企業があるかを見学するツアーを開催したりしています。

こういった交流会やバスツアーをする際に、静岡県内にいる外国人留学生だけでなく、留学生と交流したい日本人学生、将来海外と関わる仕事に就きたい学生なども主な対象としているので、そのようなイベントを開くときには静岡県立大学の学生にも周知できるよう声をかけています。

—留学を決めた理由や、静岡県立大学への入学を決めた理由を教えてください。

最初はあまり日本に興味はなかったのですが、姉が日本に留学していて、姉から日本の文化や食べ物などの情報を聞いていたうちに行ってみたいと思うようになりました。もし日本があわなければ別の国に行こ

うという感じで日本の静岡に来たのですが、それから14年間静岡に住んでいます。

来日するまでの日本のイメージが東京だったので、ミャンマーの首都ヤンゴンから初めて静岡に来た時は、大きい建物がそこまで多くなく、思ったより田舎だなんて思いました。

ただ、1~2年住んでいるうちに、海や山にすぐに行けて、富士山が毎日見える、自然に恵まれた静岡のことが好きになりました。

ミャンマーでは通信制の大学に通っていて、あまり大学生らしいことをしていなかったのですが、静岡の日本語学校を卒業した後も、静岡県内で大学生活を送りたいと思い、進学を決めました。

大学を選ぶときには、国際関係学に興味があったことと、大学の雰囲気や大学から見える富士山に憧れて、静岡県立大学を選びました。

—印象に残った授業はありますか。

国際関係学部の小窪千早先生の「国際関係論」の授業では、その当時のイギリスのEU脱退による影響についての話がありました。そのときは国際関係論の授業や内容が難しいと感じていたけれど、現在の仕事に関わっている内容も多くあり、思い返すと結構面白かったんだなと思いました。

また、高畑幸先生のゼミでは、日本と外国のコミュニケーションの違いについて学び、物事を伝える力を身に付けることができたと感じています。

日本とミャンマーでは教育の仕方も違い、ミャンマーでの勉強では一方的に暗記させられることが多かったのですが、日本では自分で考えたり自ら知識や経験を取り込んだりといったことが多いと思いました。社会に出ると色々なバックグラウンドを持つ



カインさん (左) と話を聞く藤津さん (右)

方々とコミュニケーションをしなければなら
ないので、その時の授業で学んだことはと
ても役にたっています。

—学業以外での静岡県立大学での思い
出はありますか。

学生時代はアルバイトで忙しかったので
すが、その中でもIFC(国際学友会)の活動
にはよく参加していました。IFCでは昼休み
に日本人学生と一緒に食事をしたり、伊豆
や三保の松原などにバスツアーで行ったり
して交流をするのが楽しかったです。

他にもIFCで剣祭に出店したときに、自
分たちの国の料理を出したり、留学生交
流会でミャンマーの伝統の踊りを日本人の
学生と一緒に踊るために、衣装をミャン
マーから取り寄せて準備したり、当日まで
練習したりしていたのも楽しかったです。

—静岡県立大学に入ってよかったことは
何ですか。

たくさんの友人ができたことがよかったと
思います。

国際関係学部に入學してIFCに所属し
ていたこともあって、海外のことに興味があ

る人や外国人と交流するのが好きな人と
一緒に授業を受けたりIFCの活動をしたり
して仲良くなっていくことができました。

やっぱり、日本人学生の人数と比べて留
学生の人数は少なく、最初は孤独感もあっ
たのだけれど、日本人学生も留学生も助け
あって、孤独感はなくなり、楽しい大学生活
を過ごせたと思っています。

卒業して6年経った今も、静岡にいる皆
とはまだ連絡を取り合っており、今ではミ
ャンマーの友達より、日本の友達の方が多
くいます。大変なときも分かち合える友人に
出会えたのはすごくよかったと思います。

また、先ほど授業の思い出でも言いま
したが、SIBAで働いていると国際関係学部
で学んでいたことが結構絡んでいるので、
仕事で活かせてよかったです。

—今後の夢・目標を教えてください。

私は今、人材関係をメインで担当してい
るので、その関係で、優秀な海外の人材
に静岡に来て活躍してもらうために、静岡
県の良さや、静岡県企業の魅力などを発
信して、もっと留学生に静岡に来て欲しい
と思っています。

また、大学を卒業してからも、東京や大
阪など、県外に出ていかずに、なるべく静
岡県に残ってもらえるような環境を作りたい
と思っているので、そのための取り組みを
考えていきたいと思っています。

—最後に、県大生へのメッセージをお願い
します。

県立大学に入ってよかったことでも挙げ
ましたが、なるべく多く友達を作れるといい
と思います。友達がいると様々な場所で新た
なチャンスや新たな情報が得られるので、
友達は財産の一つだと私は思っています。

あとは、私も社会人になったらお金を
いっぱい稼いで自分のやりたいことができ
ると思っていたけれど、実際社会人にな
ると、自分がやりたいことができる時間は減
ってしまうので、やりたいことがあるなら、学生
のうちに後悔のないように、思い切り楽しん
でほしいと思います。



■ つつじヶ丘自治会と国際交流イベントを開催

2024年7月7日の七夕に、本学の国際学生寮「富学寮」とつつじヶ丘自治会が共催し、地域住人と留学生が交流する初の試みの国際交流イベント「留学生と遊ぼう！～星に願いを～」を開催しました。

富学寮の寮生とつつじヶ丘に住む子供からお年寄りまでの幅広い世代の住人が一堂に会し、ジェスチャーゲームや子供たちの遊び、折り紙を用いた七夕飾りの制作など、お互いの文化や言語に触れ、楽しいひとときを過ごしました。

イベントは予想以上の盛り上がりを見せ、子供たちは言葉の壁を越え積極的に留学生と交流していました。イベントに参加した地域の人たちも、少し距離を感じていた留学生に対し印象が大きく変わった

との声が寄せられました。つつじヶ丘自治会の田中会長からは「地域が高齢化し、若者が参加できる企画が作りにくくなって

いるのでこういった機会は本当にありがたい。これからも企画を考えていきたい」と連携強化に向けた発言がありました。



■ 令和6年度「学生生活活性化プロジェクト」の認定式を開催しました

2024年11月6日、草薙キャンパスにおいて、「学生生活活性化プロジェクト」の認定式が行われ、今井学長から8団体に認定書が交付されました。

「学生生活活性化プロジェクト」は、後援会事業のひとつとして、2023年度に立ち上げたもので、本学の学部生と大学院生がリーダーとなり企画・運営を行うプロジェクトに対し、活動経費を支援するものです。

今回の認定団体の活動補助は、2024年4月からの活動に要した費用も対象になっており、2025年9月末までの間に各プロジェクトを実施していきます。

令和6年度 学生生活活性化プロジェクト認定団体		
	団体名	主な活動内容
1	uni-Cafe	はばたき棟地下食堂にカフェ設置・メニューの共同開発
2	学生広報大使	県立大学学生広報大使の公式キャラクター・グッズの制作・商店街とのコラボ
3	県大子どもcafé	商店街における子どもカフェの設置・地域の活性化
4	石川県災害ボランティア	被災地でのボランティア活動・SNSでの情報発信
5	放置竹林：竹炭技術未来創造プロジェクト	放置竹林整備による環境保全・竹炭技術の継承
6	よつてみ！	清水駅前商店街活性化のためのイベント開催
7	なまけもの	ゴミ拾い活動・オリジナルピブス等制作・地域活性化イベント開催
8	置き物と傘プロジェクト	手もみ和紙と竹の置き物販売・放任竹林への支援



■ 学生が共同開発したカードゲームが消費者教育支援センター主催コンテストで受賞



大館さんが共同開発したカードゲーム

国際関係学部4年の大館楓さんと「エデュケーション+ゲームラボ」として活動している吉村有加氏が共同で開発したカードゲーム「リサイクル合戦－紙ごみ編－」

が公益財団法人 消費者教育支援センター主催の「消費者教育教材資料表彰2024」で優秀賞を受賞しました。

このカードゲームは環境問題、特にリサイクルを題材としており、場のカードが動かせなくなった後に、手持ちのカードからごみのリサイクル(リサイクル可能なごみのカードを取り除くこと)を行い、その結果で勝敗が決定するため、リサイクルが終わるまで勝敗が決定しないという面白さがあります。

カードのデザインを担当した大館さんは「ゲームを大学生が試した時と、こども

が試した時とで反応が違った。その反応から、解説動画を作成したり、絵を変えるなどして、ゲームを理解してもらえよう工夫を重ねた。負けを決めるゲームであるが、この負けを通じて、自分たちがどこかの国や地域にごみを押し付けているのではないか、という気持ちを持ってほしい」と語りました。

このゲームは、主に小学校での活用を想定していますが、県内高校の授業でも活用される予定です。

リサイクル合戦－紙ごみ編－

Education+Game Lab.



※ゲームはこちらからダウンロードができます。

※ワークシートも公開されており、ゲームと一緒に活用可能です。



表彰式にて



ゲームの説明をする大館さん

■ 全国相撲大会で優勝した学生2名が学長を表敬訪問



優勝メダルを持つ今井学長

「第11回全国学生女子相撲選手権大会」で優勝した福里愛美さん(国際関係学部3年)と「第40回全国国公立大学対抗相撲大会」で優勝した田中弘道さん(経営情報学部2年)が、今井康之学長を訪問し、優勝の報告をしました。

福里さんは同大会で、2022年の無差別

級、2023年の中量級、2024年度の軽重量級と3階級制覇を果たす大快挙です。また、2024年5月に開催された「第3回全日本相撲個人体重別選手権大会」や同年6月開催の「第10回全国女子相撲選抜ひめじ大会」でも優秀な成績を収めています。

福里さんも田中さんも、小学生時代から数々の相撲大会に参加して好成績を残しており、大学生となった今でも勉学の傍ら相撲の練習に励んでいます。

学長は、二人に普段の練習の様子や自分の持ち味などを尋ね、優勝メダルと盾を手にとつとその重さに驚いていました。田中さんは「国公立大学対抗相撲大会では2連覇をしたので、来年(2025年)3連覇に向

けて頑張りたい」、福里さんは「来年は国内予選を突破し、世界選手権大会で優勝できるよう精進します」とそれぞれ抱負を語りました。



学長からふたりへ県大タオルが贈られました

看護学部男子チームが「スポGOMI ワールドカップ」 静岡予選で2連覇

「スポGOMI ワールドカップ2025 静岡 STAGE」が2024年9月28日に静岡市葵区の常盤公園内で開催され、看護学部のボランティアチーム「なまけもの」から男子学生5名、女子学生10名の有志が参加しました。

「スポGOMI」は、「ゴミ拾いはスポーツだ!」を合言葉に、ごみ拾いとスポーツを融合した日本発祥のスポーツで、2008年に活動が始まりました。2023年11月には本スポーツ初の世界大会「スポGOMIワールドカップ」が開催され、2025年10月に第2回となる「スポGOMI ワールドカップ2025」が行われる予定です。地方予選となる今回の静岡ステージではおよそ15チームが参加し、青葉シンボルロードから静岡伊勢丹までの呉服



参加したメンバー（集めたゴミとともに）

町周辺エリアを制限時間内にチーム一丸となつてごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競いました。本学からは5チームが参加し、その結果、前回3位的女子学生チームが2位に浮上し、前回優勝した男子学生チームは今年度も優勝し2連覇を決めました。今回

の成果は、定例の小鹿・草薙地区でのごみ拾い活動に加え、毎月学外でのごみ拾い活動へと活躍の場を広げた成果が競技にも表れたものと思われます。

優勝した男子学生チームは、2025年に東京で開催される全国大会に出場する予定です。

しずぶんツアー第7弾「するが文化の散歩道スタンプラリー2024」を開催

国際関係学部の細川光洋ゼミが企画・協力している「しずぶんツアー『するが文化の散歩道スタンプラリー』」が2024年10月6日から12月8日まで開催されました。

このイベントは、「中勘助文学記念館」「芹沢銈介美術館」（静岡市）、「焼津小泉八雲記念館」（焼津市）、「藤枝市郷土博物館・文学館」（藤枝市）の4つの文化施設を巡り、スタンプを集めるとオリジナルデザインのマグネットや帆布トートバッグがもらえるもので、同ゼミでは毎年、冊子デザインやスタンプ、グッズなどの制作を手掛けています。

今年は小泉八雲没後120年ということ

で、トートバッグのイラストは八雲が飼っていた黒猫「ヒノコ」をキャラクターのモデルにしました。また、従来のマグネットに加え、今回新たに各館に因んだキャラクターをデザインしたレトロ・モダンなオリジナルチケットホルダーを作成しています。



細川教授（後方右）とゼミ生

今年度はゼミ生たちが各館を巡り、インスタグラムでも情報を発信しています。プロジェクトリーダーの帯金さん（3年）は「本スタンプラリーをきっかけに、実際に現地に足を運び、ぜひ、文学や地域の魅力を知ってほしい」と話しました。



学生が手掛けたグッズとスタンプ帳

吹奏楽部が第65回静岡県吹奏楽コンクールで金賞受賞

吹奏楽部「静岡Symphonic Winds」は、2024年7月14日に静岡市清水文化会館（マリナート）で行われた第65回静岡県吹奏楽コンクール大学の部に出場し、金賞を受賞しました。この結果、9月8日に

同館で開催される東海大会（第79回東海吹奏楽コンクール）に出場し、銀賞を受賞しました。



第65回静岡県吹奏楽コンクールに出場した部員の集合写真

県議会議員と学生が「地域公共交通の今後を考える」意見交換会を実施



学生と議論する沢田議員と鈴木議員

2024年11月22日、経営情報学部講義「公共ガバナンス論」に静岡県議会の沢田智文議員と鈴木啓嗣議員が参加し、学生と意見交換を行いました。

はじめに、松岡清志講師から、地域公共交通の現状と静岡県議会における取り組み、地域公共交通のガバナンスを考える際の視点について説明がありました。次に、「地域公共交通の今後を考える」グループワークが行われ、各グループの議論に2人の議員も参加しました。学生の「ロボット運転手にしてみては?」という意見について、「そのお金はどうするのか」という議論になると、沢田議員から「ふるさと納税を活用している自治体もある」という事例紹介がありました。また、他のグルー



プでは、議論に行き詰まると、鈴木議員から「誰のために、どんなサービスが必要なのかを考えてみてほしい」とアドバイスがありました。その他にも、議員から県の予算についての説明を受け、「どうして税収が減るのか」「企業を誘致し、その従業員が公共交通機関を利用するようにできないか」など活発な意見が交わされました。

その後、各グループから「住民の自助グループを作って、送迎を担えないか」などの発表がありました。発表を受け、沢田議員は「地域公共交通対策特別委員会の提言と重なることがあったが、みなさんから出された意見の方がさらに具体的で、とても勉強になった」、鈴木議員は「自分たちは経験を重ねていく中で、意見の範囲が決まってしまう、飛び抜けた意見が出にくい。柔軟な発想から生まれた意見は貴重である」と述べました。

経営情報学部3年の中村吏伽さんは「他県の取り組みや県議会議員ならではの話を聞くことができ、貴重な機会になった」と感想を述べました。



議員を囲んで記念撮影

「フィールドワーク」で環境の重要性を学ぶ



樹木成長、土壌特性、水質などの測定を通じて物質循環を学びました

食品栄養科学部環境生命科学科では、2年生の必修科目「フィールドワーク」を毎年開講しています。2024年度は、9月10～12日に、森林生態系における物質循環に関する実習（協力：静岡大学農学部付属



食品加工工場の排水処理や廃棄物リサイクルの方法を学びました

地域フィールド科学教育研究センター・花岡准教授、栗原特任助教）と、11月28日に産業廃棄物関連施設の視察見学会（協力：公益社団法人静岡県産業廃棄物協会、株式会社いちまる、環境のミカタ株式

会社）をおこないました。これらの実習を通じて、森林生態系における物質循環の重要性、食品加工工場における水処理施設のしくみ、産業廃棄物のリサイクルや適切処理の方法について学びました。

羽衣つたえ隊とSPAC俳優による朗読会が開催されました



『羽衣』の朗読劇

2024年9月13日、草薙キャンパス小講堂で、学生有志団体「羽衣つたえ隊」とSPAC俳優の吉見亮氏・布施安寿香氏による朗読会「文体と向き合う身体」が開催されました。本朗読会は、「羽衣つたえ隊」の活動の一環として2021年から行っているもので、今回で4回目になります。

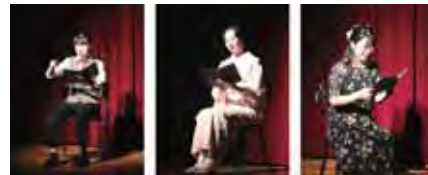
吉見氏による朗読の「『注文の多い料理店』序」(宮沢賢治作)を皮切りに、学生3名が『人でなしの恋』(江戸川乱歩作)や『川』(岡本かの子作)など、それぞれ思い

入れのある作品を朗読しました。今回初めて同会に参加し、主人公が虫になって目覚めるところから始まる『変身』(フランツ・カフカ作)を朗読した国際関係学部1年の羽山芽衣さんは、第三者が物語を語るシーンと主人公として台詞を言うシーンのギャップに気がつけたということです。

最後には、羽衣つたえ隊のメンバー4名で、三保松原を舞台とする能『羽衣』を基に作られた絵本『羽衣』(山階彌右衛門監修、鈴木さやか文、なかおまき絵)の朗読劇を披露しました。観客席までも舞台の一部として使った演出は朗読の枠を超えて演劇のようで、学生の演奏による天上の音楽のような心地よい響きとともに観客を幻想的な世界に誘いました。

羽衣つたえ隊の顧問である鈴木さやか・国際関係学部准教授は、朗読について「コロナ禍で元気を失いつつあった学生のケアのために始めた活動であったが、

新型コロナによる制限が落ち着いた今でも活動は続いていて、吉見さんと布施さんの指導のもと学生がどんどん上手くなっていくのが、とても嬉しい」と話しました。



学生による朗読



SPAC俳優の吉見氏と布施氏
(左から3番目、4番目)を囲んで記念撮影

広告

静岡県立大学OBOGが多数在籍し活躍しています！



「静岡県信連」は県内10JAの信用事業（JAバンク静岡）を県域段階で統括する組織であり、JAの金融事業推進や財務運営をサポートする本部機能を担っています。
また、JAからお預かりした資金をもとに、農業者・企業などのお取引先様への融資に加え、金融マーケットにおいて有価証券の運用を行うなど、地域金融機関としての業務も行っています。

市町村	JAバンク静岡	JA		
	信用事業 ●貯金 ●融資 ●為替	共済事業	経済事業	代表・総合調整・経営相談事業
県域	静岡県信連 	全共連 静岡県本部	静岡県 経済連	静岡県 中央会
全国域	農林中金	全共連	全農	全中

農業と地域のつなぎ役

「Agrigional Coordinator ～食と農を未来へ、ヒトと地域をつなぐ信連へ～」

静岡県信連は、静岡の誇る「食と農」を未来へ継承していくため、

ヒトと地域、食農産業をつなぎ、静岡の農業の持続・発展に欠かせない存在となることを目指しています。

静岡県信用農業協同組合連合会 （JAバンク静岡県信連）



よりそう



新卒採用サイトはこちら⇒

Beyond the World

静岡県立大学の国際交流

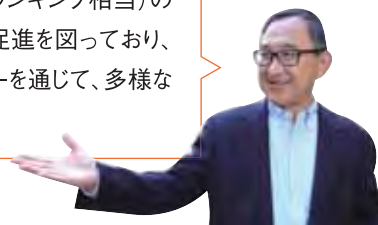


今号の「はばたき」では、本学のグローバル化3つの視点の内、「教育」についてご紹介します。

「教育」のグローバル化とは？

本学では、交流大学等との緊密な関係を構築するとともに、国際水準（グローバル・ランキング相当）の教育を提供しています。常に留学生の受け入れ環境の向上や学生の海外派遣の促進を図っており、その取り組みの一つとして「スタディツアー」があります。日本人学生は留学生とツアーを通じて、多様な学びの機会を得ることができます。

国際交流センター長
澤崎 宏一 教授



スタディツアーに参加してみよう！



2024年2月 ツアー参加者と国際交流センター長

- ✓ 友達の輪が広がる
- ✓ 貴重な経験ができる
- ✓ 自国や地域（静岡）について再確認することができる
- ✓ 留学生を通じて海外の文化や言葉を知ることができる
- ✓ 異文化・学生交流により、「共生」についての理解を深めることができる



公式HP
静岡スタディツアー



富学寮+
国際交流
Instagram

本学のグローバル化3つの視点



教育



研究



キャンパス環境

●グローバル【global】：世界的な規模であるさま。また、全体を覆うさま。包括的。「一な視点」 出典：デジタル大辞泉（小学館）

世界とつながる教育体制

海外22ヶ国の学校と交流協定を結んでいます。

交換留学や語学研修といった学生交流から教員の研究交流まで様々な交流を図っています。

協定校各国（2024年1月現在） ※協定校について詳しくは下記二次元コードからホームページをご覧ください。

アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、カナダ、スペイン、タイ、大韓民国、中華人民共和国、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、バングラデシュ、フィリピン、フランス、ベトナム、ベルギー、マレーシア、モルドバ、ロシア、モンゴル



協定校紹介

Partner school introduction



イタリア パルマ大学

1601年に正式に設立されたパルマ大学は、その起源を962年にもつ、世界最古の大学の一つです。教育と研究の国際化に積極的に取り組み、多くの海外大学と連携し、ジョイントデグリー制度にも力を入れています。今後、本学とのさらなる交流が期待されます。



【国際交流・留学】
詳しくはコチラ！

交換留学を経験した先輩の声

1年間パルマ大学へ研究留学しました。留学当初はほぼ英語を話せない・聞けないレベルでしたが、積極的なコミュニケーションにより英語力が向上しました。パルマ大学では、派遣先が得意とする解析技術や研究に対するスタンスを学び、研究の視野を広げることができました。また静岡名産であるお茶の試飲会を通じて、日本のお茶の可能性を強く感じました。留学中、日本ではできない経験を多くして、語学以外にも自分の未来を切り開くための力が多く身につきました。世話焼きな人が多いイタリアのパルマで、学部だけでなく大学院の学生も積極的にチャレンジすることを勧めます。

小林 琢磨

薬食生命科学総合学府
薬食生命科学専攻 博士課程3年
[留学期間]2023年10月～2024年9月



外国人交換留学生紹介

私はパルマ大学の大学院で会計学を専攻しています。日本で過ごした3日間は、私にとって非常に充実した経験となりました。静岡県立大学では、世界有数の大企業トヨタについて、上野教授の講義で学びました。また、県大生と講義や学食で一緒に楽しい時間を過ごしました。梅ヶ島温泉でのお茶製造体験では、さまざまな文化を持つ人々と交流することができました。短い滞在でしたが、多くのことを学び、忘れられない素晴らしい思い出になりました。母国に帰ってからも、静岡県立大学に留学することを勧めていきたいと思います。

Alice Tiberti

経済研究科 経営学修士課程1年
【来学期間】2024年6月17日～19日



To be continued >>> 次回の協定校紹介もお楽しみに！



薬学部 原 雄二 教授

一先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。

薬学部統合生理学分野では、筋肉をまもる機構について研究を行っています。筋肉を構成する筋細胞（筋線維）は、たえず物理的な刺激を受け損傷を受けていますが、筋線維のもつ再生・修復能力により筋肉の機能は保たれます。私たちは、筋線維の再生・修復にかかわる筋幹細胞（筋衛星細胞）が、いかに物理的な刺激を感じて機能を果たすのか解明を目指しています。特に細胞に掛かる力に応じて機能する「PIEZO1」をはじめとするイオンチャネル（※）群に注目しています。また、細胞膜を構成する分子である「脂質」について、その役割解明をめざして研究を推進しています。

米国留学時より、骨格筋の疾患である筋ジストロフィーの研究を行ってきました。以前

より、私の祖父が筋肉の病気で不自由な生活を過ごしていたことから、筋肉の疾患に関する研究、さらには治療に結びつけることができる研究をしたいと思ったためです。

（※イオンチャネル：細胞の内外にイオンを出し入れする通り道）

一先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。

筋肉の機能は、わたしたちの生活に無くてはならないものです。とくに超高齢社会の現在において、筋肉の機能維持は高齢期の方々の健康を保つうえで重要であり、さらにいわゆる「ロコモティブ・シンドローム」を防ぐことは、地域社会全体にとっても非常に大切なものと言えます。筋幹細胞の機能を維持するメカニズムを解明することで、将来的に高齢期の方々の運動機能の増進や、筋肉の疾患に対する治療法の開発につながればと願っています。

一研究をしているなかで、学生の成長を感じるのはどのような時ですか。

実験動物より筋幹細胞を採取して実験を行っていますが、技術や経験が必要な

実験です。最初のうちはうまくいきませんが、徐々に実験手技がうまくなっていくと、学生さんも成功を感じてさらにやる気が出るように感じます。また、週1回開催している研究室セミナーで、最初のうちは質問できない学生が多いですが、自身で論文を読んだり教員とディスカッションを行うことで成長して、セミナーでも積極的に質問や意見を述べる事が出来る姿を見ると、特に学生の成長を感じます。

原 雄二 教授



- 1997年3月 京都大学薬学部薬学科卒業
- 1999年3月 京都大学大学院薬学研究科修士課程 生命薬科学専攻修了
- 2002年3月 総合研究大学院大学博士課程 修了
- 2003年8月 京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 助手
- 2005年10月 米国アイオワ大学医学部 研究員
- 2012年7月 東京女子医科大学 統合医科学研究所 テニユアトラック准教授
- 2013年12月 京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 准教授
- 2021年4月 静岡県立大学薬学部 教授



STUDENTS' VOICES



薬食生命科学総合学府
博士前期課程・2年
青柳 雄大さん

一ご自身から見て感じる、原先生の研究室の魅力や特徴についてお聞かせください。

原先生はとても気さくな方で話しやすい先生です。教授室のドアはいつも開いていて、相談がしやすい環境になっています。さらに、第一研究室の広さも魅力の1つです。県大の中でも5本の指に入るほどの広さで全員が一つの空間にいられるため、テーマの違う人ともコミュニケーションが取れ、日々楽しく研究生活を送っています！

一ご自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。

私は、物理的な刺激に応答するイオンチャネルが筋再生にもたらす影響について研究しています。運動によって筋肉に物理的な力が加わることは容易に想像できますが、そのメカニズムは明らかではありません。遺伝子改変マウスを用いて力がどのようにして筋肉に伝わるかの解明を行っています。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

博士後期課程へ進学し、現在取り組んでいる筋肉の再生に関する研究を継続する予定です。博士後期課程の間に海外での学会参加等を通じて自身をより成長させ、将来に向かってはばたけるよう力を養いたいと考えています。



薬学部・4年
佐々木万緒さん

当研究室の先生方はいつでも質問に答えてくださり、とても話しやすいです。また、学生同士でもコミュニケーションを多く取りながら毎日充実した研究室生活を送ることができています。

週に1度、研究の報告や相談をする時間があり、気軽に研究についてディスカッションできる環境がある点も魅力の1つであると感じています。

マグネシウムは生体に重要なミネラルの1つです。体に存在するマグネシウムの約20%は骨格筋に存在し、筋肉の収縮弛緩に関与しています。私は筋肉の再生過程に着目しており、マグネシウムの筋再生への関与、さらにマグネシウムを介した細胞内マグネシウム濃度調節機構の解明を目指して研究を行っています。

薬剤師として医療機関で勤務すること、メーカーにて研究開発に携わる仕事の2つの選択肢を考えています。5年次からの実務実習や企業が開催するインターンに参加することによって、自分は患者さんと直接関わる仕事がしたいのか、より良い医薬品を多くの人に届ける仕事がしたいのかを深く考えた上で決定したいです。



薬学部・4年
渡邊 蒼太さん

原研究室の助教の平野先生に主にご指導いただいています。原先生はいつも優しい口調で話されるため、研究室全体も優しく温かい雰囲気になっています。原先生だけでなく、他の先生方も、きさくでとても話しやすいです。学生たちはみんな仲が良いだけでなく、頑張る仲間が多く、自分も頑張ろうという刺激になっています。

私は骨格筋細胞の研究をしており、中でも細胞から伸びる一本の毛のような器官である一次繊毛について研究しています。私たちは心臓が体の左側にありますが、このような内臓の非対称性は一次繊毛の機能によるものです。私はこの一次繊毛が骨格筋でどのような役割を担っているのかを解明するため、日々研究を行っています。

薬学部で学んだ知識を活かし、医療職や製薬企業など、何らかの形で患者さんのためになる仕事に就きたいと考えています。4年から5年次の薬局実習、病院実習にて多くのことを経験し、今後のキャリアを考えたいと思っています。

原先生研究室 30 名



活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 高田純太郎さん

卒業学部
看護学部
看護学科
(2019年3月修了)

勤務先 静岡県立子ども病院

Q1.現在の仕事について、どのような内容がお聞かせください。また、仕事でやりがいを感じるときはどのような時か、お聞かせください。

静岡市にある小児専門病院で看護師をしています。

小児といっても、年齢層はとても幅広く生まれて数日の小さな赤ちゃんから大きな高校生までたくさんの子供達と毎日関わっています。

手術や、家族と離れ離れになってしまう辛い環境下の中で子供達に関わるのはとても難

しいことですが、子供達を助けたいという強い想いを持ったスタッフと一緒に働けることが自分の支えや励みになっています！

時折、退院した患者さんが病棟に遊びに来てくれます！身体も大きくなって、元気に学校に行っている報告を聞く度にこの仕事の魅力を感じることができています。

Q2.大学生生活(研究やサークル)で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。

数多くの病院に実習に行けたことは就職先を決める上でとても役立ちました。看護は多種多様の領域があって、どこに向かうか皆が悩むと思います。実際に病院の中に入って、雰囲気に触れられる機会が豊富にあったことは有り難かったです。

友人と作ったフットサルサークルで日々汗を流したことも良い思い出です。草薙、小鹿キャンパスどちらもユニークなサークルが多くあるので自分にハマるものがあると思いますよ。

Q3.静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。

一生物の学友を作れたことです！！

人数の少なかった看護男子は代わりのいない大切な友人です。在学中も仕事をしている今も彼らの存在があったからこそ、頑張ってきたと思っています。そんな存在を得られたこと

は大学での大きな収穫になりました。

それから看護学部には3年次に半年間続く長い実習がありますが、その時の実習メンバーとも卒業後6年経った今でも定期的に会う仲になりました。現在は皆それぞれの場で活躍していて、良い刺激を貰っています。

Q4.今後の目標や課題について教えてください。

現在は病棟教育の仕事を担当しているので、新人看護師が楽しく、自信を持って仕事ができる体制を整えることに、一層尽力していきたいです。

どこかのタイミングで母校の大学院に進学して自己研鑽を積むことも考えています。

Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。

意外と長そうに見える大学生活も今振り返ると、一瞬の出来事の連続です。勉強、アルバイト、友人との付き合い、どの瞬間を取っても人生の素敵な思い出のピースになっています。歳を重ねれば重ねるほど時間の大切さを感じています。

今しかできない経験が沢山あって、それを楽しむ時期は限られています。

自分自身または友人と大学生活4年という貴重な時間を贅沢に使って下さいね。

活躍する在学生

The current student who plays an active part



お名前 秋本 航さん

在籍学部
経営情報学部
経営情報学科 3年
(2022年入学)

Q1.現在、ご活躍されている分野についてどのような内容をお聞かせください。また、その分野で一番魅力を感じる部分はどこですか。

京都芸術大学映画学科、北白川派の映画製作(「うさぎの足跡(仮)」)に県立大学生の代表として参加しています。静岡県での撮影を控える中で、ロケハンの情報提供や静岡での広報活動などを担当しており、昨年11月には静岡市長への表敬訪問も経験しました。映画製作という未知の世界に飛び込むことは学びの連続です。様々な人との交流や経験を通して、

新しい価値観に触れ、学びを得ることが一番の魅力です。

Q2.静岡県立大学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。

私は神奈川県に生まれ、観光地である湘南地域で育ちました。行政や民間企業は経済効果の大きさから観光客の誘致を行いますが、そこで生活をしている地元住民は迷惑に感じる部分もあります。観光客と地域社会の間に生じるズレやジレンマを抱きながら過ごす中で、「観光」や「地域」に関する勉強に興味を持ち、観光マネジメントを学べる経営情報学部への進学を決めました。

Q3.私生活や学業と活動はどのように両立されていますか。

講義に加え、ゼミや就職活動なども並行して行っており、自信をもって両立できているとは言えないのが正直なところですが、監督に相談したところ、無理のない範囲で関わってほしいという言葉をいただき、何とか活動を続けることができています。映画は準備から製作、上映とその先に至るまで、長い時間をかけて育てるものだと感じています。卒業後も含めて、映画と地域のために長い目で関わり続けたいと考えています。

Q4.活動をやっている苦労したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。

苦労したことは無知ということです。これまでもこれから、きっと模索の日々だと思います。当然映画製作の知識や経験はない私が、どのように関わることが最善なのかを考えることは多くあります。しかし、地域活性化を学んでいる立場だからこそ活躍ができるのではないかと今は考えています。映画という価値が地域に生まれ、公開されるだけではなく、それを育てるために自身の学びを活かしたいと考えています。

Q5.今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。

映画の撮影は私の卒業を目前に控えた来年の2月です。公開される頃には大学を卒業し、働いていることと思います。しかし、地域に関わるということは社会人になっても続けたいと思っているので、この活動自体も継続していきたいと思っています。学生時代と状況が変わり、苦労もあると思いますが、自分のできる範囲で頑張っていこうと思います。公開まで時間はありますが、静岡発の映画「うさぎの足跡(仮)」を楽しみにお待ちください。

本学発！学生ベンチャー「なまけもの」誕生！

本学看護学部が起業した“株式会社なまけもの”が静岡県立大学発ベンチャーの認定を受けました。同社は本学発ベンチャー初の学生ベンチャーです！！

“株式会社なまけもの”の前身となる、ボランティアチーム「なまけもの」は、2023年に看護学部1年生（当時）がボランティア活動を通じて地域の方たちとの交流を深めるために設立されました。これまで小鹿・草薙地域でのごみ拾い活動や、地域のお祭りや敬老会といった自治体イベントへの参加などを積極的に行ってきました。

2024年12月にチームの中心メンバー4名が「大学生が、豊かで明るい福祉を創る」を理念に、“株式会社なまけもの”を設立しました。

同社は、看護学部での学びを活かして、「大学生 × 福祉 × ○○ = 笑顔」をコンセプトに、高齢者が増加する地域や社会において、若い世代と高齢者との関わりを創るオリジナルの健康教室の企画・運営、介護施設へのイベント提供を行います。福祉の可能性を広げ、福祉のイメージをよくすることを目指します。また、自社の経験を活かした学生向け起業支援事業なども行う予定です。

本学発ベンチャー初の学生ベンチャーの今後の活躍に期待し、皆様の御指導・御協力をお願いいたします。

企業に関する
問い合わせ先

株式会社なまけもの
namake.shizuoka@gmail.com

僕たちと一緒に新しい
挑戦をしてみませんか!?



本学教員との共同研究や受託研究、学術指導、奨学寄附金のお申し込みは、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

お問い合わせ窓口

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52番1号
地域・産学連携推進室
TEL: 054-264-5124
Email: renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

本学教員の研究内容に関する情報は
右図の二次元バーコードからも
ご覧になれます。



はばたき寄金からのお知らせ

第28回文芸コンクールの開催

今年も本学の学部生、院生、教職員を対象として全4部門での募集を行いました。

詩部門4篇、川柳部門10句、写真部門15作品、イラスト3件の応募がありました。

各部門の受賞は次のとおりとなりました。



文芸コンクール受賞者



表彰の様子



作品説明の様子



受賞作品一覧

	作品名	氏名
詩部門		
最優秀賞	時の流れは	鈴木志絵里
優秀賞	とある障害学生の	野田萌々香
佳作	日常	岡村 悠真
川柳部門（3句で1応募）		
最優秀賞	負けられない戦い／ふわふわ／迷子	河智 夏希
優秀賞	夕暮れ／テスト期間／イチョウ	帯金 晴樹
佳作	人生の夏休み／ランウェイ／人生	河智 夏希
写真部門		
最優秀賞	はばたく同級生	坪井あかね
優秀賞	金色のじゅうたん	堀内 泉美
佳作	わすれもの	永尾 瑞希
イラスト部門		
最優秀賞	思い出の校舎	中村 彩乃
優秀賞	未来への光	堀内 泉美
佳作	上からの景色	西方 菜美



はばたき寄金 ～学内関係者の皆様へ～

静岡県立大学はばたき寄金は、皆様からのご寄付により世界にはばたく人づくり事業や外国大学との交流事業、本学の学術文化等の発展・向上に努めた人への顕彰事業等を行っております。
ぜひご協力をお願いします。

【ご寄付送金先】口座名義：静岡県立大学はばたき寄金

- ・静岡銀行 草薙支店 普通 0503027
- ・スルガ銀行 草薙支店 普通 2158874
- ・清水銀行 美術館前支店 2109521
- ・ゆうちょ銀行 普通 記号 12360/ 番号 12075821

または、はばたき寄金事務局（はばたき棟 1F 広報・企画室）まで直接お願いします。

皆様からのご寄付に御礼申し上げます。（はばたき寄金運営委員会）

（敬称略、寄付日順） 静岡県立大学後援会、山下早苗、落合康裕、創星会

図書館 だより

2 キャンパス合同学生選書ツアー

「図書館にこんな本があったらいいのに」「友人や後輩にも読んでほしい本がある」と感じたことはありませんか？ そんなあなたにぴったりのイベントが「学生選書ツアー」です。学生選書ツアーとは、年に2回草薙図書館、小鹿図書館合同で行っており、学生の皆さんに書店で現物を見ながら図書館に置く本を選んでいただくイベントです。

2024年度第1回の学生選書ツアーは7月3日（水）MARUZEN&ジュンク堂書店新静岡店を会場に開催しました。草薙図書館からは4名（薬学部2名、経営情報学部1名、国際関係学部1名）、小鹿図書館からは5名（社会福祉学科3名、こども学科2名）の学生が参加し、普段自分では購入できないような本や他者に読んでもらいたい本、図書館に入れたい本を沢山選書していただきました。科学系、天文、ミステリ、IT、美術、古典、社会福祉、絵本、保育、スポーツ、経済学、語学、海外旅行、人間関

係など幅広い分野で大変興味深いラインナップです。購入が決定した図書は草薙102冊、小鹿68冊となりました。

参加者からは、「久しぶりに書店に行き、本に触れる機会が持てて良かった」「選んだ絵本は実習で役立ちそう」「初参加だったけどとても楽しめた」といった声が寄せられています。

購入した本のPOPは学生が作成し、本と共に図書館の学生選書コーナーに展示しています。大変人気のあるコーナーとなっています。

今回はあなたもぜひ参加して、図書館をもっと自分たちの場所にしてみませんか？ 友達を誘って楽しく本を選びましょう。皆さんの参加をお待ちしています！



私の一冊の本

紹介者 短期大学部 一般教育等 准教授 竹下 典子
紹介図書 珍獣の医学



著者：田向健一
出版社：扶桑社
出版年：2016年
ISBN：9784594074210
請求記号：649//Ta 82

『珍獣の医学』は、珍しい動物たちの医療や飼育に関する知識を、著者の実体験を交えて紹介した一冊です。著者の田向先生は、幼少期からの動物好きが高じて獣医師となり、様々な珍しいペットたちと日々向き合っている“珍獣ドクター”です。

獣医さんといえば、動物のことは何でも知っていて、ペットのことで困った時には動物病院に連れて行けばきっと助けてくれるような期待を

つつい抱いてしまいがちですが、田向先生曰く「実はそんなことはまったく」とのこと。考えてみれば、人間のお医者さんは「ヒト」という特定の種を対象に、幾つもの診療科に分かれているのに対し、獣医さんは哺乳類だけでなく、両生類や爬虫類、鳥類、魚類まで多様な動物種を取り扱い、さらに、内科も外科も全て診療をしなければなりません。一人の獣医師が何でも対応できるなんて、とんでもないことだと、この本を読んだ気がされました。

特に田向先生は「エキゾチックペット」と呼ばれる珍しいペット（＝珍獣）を積極的に診察されています。大小様々なペットたちの前例のない症例が次々と現れるため、独自のアプローチが求められます。体長2cmの小さなカエルの開腹手術のような繊細な作業から、亀の甲羅をノコギリで切り、ノミとトンカチで結石を砕いて取り出すという大工さながらの処置まで、スケールも幅広く、オスだと思っていたのにメスだったイグアナの卵詰まりや、レンコンをつまみ食いしてしまった犬などちょっとびっくり

するような症例も登場します。田向先生が、その一例一例に真摯に取り組む、試行錯誤を重ねて診療されている様子が描かれています。

また、動物の生態や行動についての新たな知識を得られることも本書の大きな魅力です。単なる動物の解説にとどまらず、彼らが抱える医学的な問題や課題にも焦点を当てています。さらに、ペットを飼うことの責任や命の重みについての記述もあります。私はペットを飼っていませんが、動物が大好きですし、実験動物を扱う研究者でもあるため、動物福祉の視点からも改めて考えさせられました。

時々、痛々しい写真や悲しい結末を迎える事例もあるので、苦手な方には少し注意が必要ですが、それ以上に処置に成功し、動物が元気になったエピソードが多く、ほっこりする可愛い写真も多数掲載されており、全体的に楽しく読むことができます。動物好きな方や、ペットを飼いたいと思っている方には、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。





奨学金授与式が行われました



本学では、有意義な学生生活を支援していくために、
地元企業等の奨学団体の協力による各種奨学金制度を活用しています。
今年度は、地域の地元企業 10 社から計 26 名の学生が奨学金をいただきました。
2024 年 7 月から 10 月までの間に奨学金授与式が執り行われました。

「静岡信用金庫奨学金」授与式

7月4日

- 佐藤 理絵 薬学部 6年
- 進藤はるか 食品栄養科学部 4年



「エンケイ財団奨学金」交流会

9月13日

- 中山雄太郎 薬学部 6年
- 長谷川愛七 看護学部 3年
- 河合穂乃華 薬食生命科学総合学府 博士前期課程 1年
- Rezita Adhiny Putri (レズキタ アディニ プトゥリ) 国際関係学部 4年
- TAMANG DIRGHA LAL (タマン ディルガ ラル) 経営情報学部 1年



「静岡ガス奨学金」認定証授与式

7月18日

- 滝浪 翔太 薬食生命科学総合学府 博士前期課程 2年



「天野回漕店奨学金」授与式

9月17日

- HUANG YOUWANG (コウ ユウホウ) 国際関係学部 3年
- LE THINGOC TRAM (レーティゴックチャム) 国際関係学部 3年



「ロッキーマン奨学金」授与式

8月1日

- 安達 大貴 薬食生命科学総合学府 博士前期課程 2年
- 森野 心羽 国際関係学部 3年
- 久保田 空 国際関係学部 4年

「静岡イノベーション奨学事業団」

10月23日

- 村松めぐみ 経営情報イノベーション研究科 博士前期課程 1年
- 堀内 泉美 経営情報イノベーション研究科 博士前期課程 2年
- 原田 朱里 経営情報学部 4年
- 神田垂矢加 薬学部 4年
- 武田かのん 薬学部 4年



「自然の恵み財団奨学金」授与式

8月30日

- 松尾胡都乃 食品栄養科学部 1年

「村上奨学財団奨学金」授与式

9月6日

- 高見 陸太 経営情報学部 2年
- 石井 大翔 経営情報学部 2年
- WANG HAN (オウカン) 国際関係学部 2年
- 飯田 さくら 薬学部 3年



「スルガ奨学財団奨学金」

- LI GANG (リ コウ) 国際関係学部 3年
- 八木 琴美 薬学部 1年

「Sun&Sun総合保険奨学金」

- 細谷 有沙 国際関係学部 1年

地元企業等による本学学生への奨学金

奨学金名称	給付金額	支給期間	応募資格	令和6年度採用人数
TOKAIグループ富士山育英財団	月額5万円	1年間	全学生（研究生、科目等履修生含む）	採用無し
静岡信用金庫奨学金	月額5万円	1年間	静岡県内出身の学部生	日本人2人
静岡ガス奨学金	月額5万円	1年間	学部生・大学院生	日本人1人
ロッキーマン奨学金	年額20万円	一時金	静岡県内に在住もしくは勤務する勤労者の子弟で2年生以上の者	日本人3人
東海澱粉国際交流奨学基金	月額3万円	1年間	アジアからの留学生のうち修士または博士前期課程の大学院生	採用無し
天野回漕店奨学金	月額5万円	1年間	中国・東南アジアからの留学生のうち学部2～3年生	留学生2人
村上奨学財団奨学金	月額3万円	1年間	学部2年生の者	日本人3人、留学生1人
エンケイ財団奨学金	月額2万円	1年間	学部生・大学院生・アセアン諸国からの留学生	日本人3人、留学生2人
自然の恵み財団奨学金	月額3万円	2年間	食品栄養科学部の1年生	日本人1人
スルガ奨学財団奨学金	月額5万円	2年間	留学生で学部3年生	留学生1人、日本人1名(高校採用)
ビヨンス国際育英財団奨学金	月額1万円	1～4年間	留学生のうち学部1～3年生	採用無し
Sun&Sun総合保険奨学金	月額3万円	1年間	学部1年生の日本人学生	日本人1人
静岡イノベーション奨学事業団	月額2万円	1年間	静岡県内の大学に通う学生	日本人5人

教員活動評価における 業績優秀者への学長表彰

静岡県立大学では、教員の教育研究活動等の一層の向上を図ることを目的として、教員活動評価を実施しています。2024年12月19日、2023年度(令和5年度)実績の教員活動評価における業績優秀者16人に対して学長表彰を行いました。

学 部 等	職 位	氏 名
薬学部 薬学研究院	教 授	近藤 啓
	准教授	原 幸大
	講 師	砂川 陽一
	助 教	保坂 卓臣
食品栄養科学部 食品栄養環境科学研究院	准教授	細岡 哲也
	助 教	佐藤 友紀
	助 教	吉岡 泰淳
国際関係学部 国際関係学研究科	教 授	園田 明人
	教 授	リダン ポール アラン
	准教授	佐藤真千子
経営情報学部 経営情報イノベーション研究科	准教授	木村 綾
	講 師	天野ゆかり
看護学部 看護学研究科	講 師	管原 清子
	講 師	福島 恭子
短期大学部	教 授	藤田 雅也
	准教授	長谷由紀子

学位記授与式・入学式を次の日程で開催いたします。

令和6年度 学位記授与式(卒業式・修了式)

開催日 令和7年3月19日(水)

令和7年度 入学式

開催日 令和7年4月9日(水)

開 場 午前9時10分

着 席 午前9時45分

開 式 午前10時

会 場 グランシップ大ホール 海

静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

(最寄駅 JR 東静岡駅 徒歩5分)

※保護者(保証人)席を用意しておりますので、ご列席ください。

問い合わせ先

TEL 054-264-5009 (学生室)

令和7年度(前期) 社会人聴講生募集

出願受付期間：3月3日(月)～3月12日(水)※必着

お問い合わせ：広報・企画室社会人聴講生担当 (054-264-5106)



社会人聴講生募集の情報は
本学公式サイトよりご確認ください。

静岡県立大学おおぞら基金に寄付をいただいた皆様(令和6年1月～12月)

(株)静岡県立大学販売協力会、ながいき薬局・いやしの森Amin、中村芳則、静岡県立大学後援会、(株)県大文化通信、山本六三、嵯峨野(株)、細川光洋、宮寄靖之、短期大学部後援会、田川隆子、尾池和夫、山中啓子、国際関係学部後援会、経営情報学部後援会、食品栄養科学部後援会、薬学部後援会、看護学部後援会、新川美貴枝、船岡利枝子、小林みどり、上田尚則、桂川正人、鈴木一郎、浜瑞紀、水野壽明、山下恵子、第37回日本リスク学会年次大会実行委員会、柘植國輝、岡部宏紀、浦波美和子、那須恵子

※3千円以上、敬称略、寄附日の順、匿名希望4名

はばたき

150号 2025年2月28日発行
発行元/静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 教育研究推進部広報・企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL/054-264-5130 ■ FAX/054-264-5099
- E-mail/koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

次号151号は2025年8月の発行予定です。



ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほかご卒業生に関する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

広告

県大生応援キャンペーン!!

2025年〈お申込時にこの冊子をご持参下さい〉

4/1(水)~6/30(月)までに
ご入校の方に
5,000円分の
Amazonギフト券を
プレゼント! ¥5,000

※普通自動車で入校の方が対象です
※限定解除の方は対象外とさせていただきます ※ギフト券は1段階修了後にお渡しします



古庄は
特典がいっぱい

学科はオンラインで受講

再検定料一切不要

技能オーバー無制限保証

スケジュール無料作成

免許は取ったけどしばらく
乗ってないから運転が不安で...

卒業生特典
ペーパードライバー講習
1時間無料

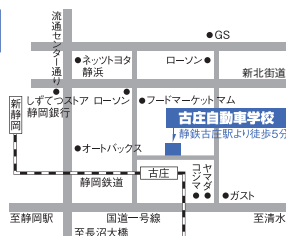
※普通車のみ：2・3・8月を除く

お申込みは
フリーダイヤル 0120-155-168

携帯からでもOK
※チラシを見たとお伝えください

公認 古庄自動車学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号
TEL.054-261-1551
FAX.054-264-0940
URL <http://www.flushyou.co.jp>
Mail main@flushyou.co.jp



静岡駅徒歩18分の
高品質なお店にお求めやすいお店

成人式 着物 レンタル

2025 1/18 ~ 11/30

予約期間

県大生に好評の
式当日ラクラク
卒業はかま
は6/1予約開始
(予定)

京都むらまつ 店舗 | 静岡市葵区馬場町25-2 (静岡駅徒歩17分)

営業 | 09:30-17:00来店予約制 (水曜定休)

☎ 0120-144081

京都むらまつ

